

尊厳死法制化を考える議員連盟会長
増子 輝彦様

2012年3月19日

日本ALS協会会長
長尾 義明

「終末期の医療における患者の意志の尊重に関する法律案」上程に対する意見表明

日本ALS協会は、今回の「終末期の医療における患者の意志の尊重に関する法律案」の上程に反対いたします。

ALSは、病状にも生き方にも、個別性が強く表れる疾患で、症状の変化とともに患者の意思も日々激しく揺れ動くため、医療・ケア・制度等の利用など、あらゆる方面からの丁寧な個別の相談支援が、繰り返し必要です。

そのような患者の生死に関わる重大な問題を、法律で一律に規定すべきものではないと考えます。

以上